

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2022年12月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで60年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2023年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>



2022年12月度ギャラクシー賞月間賞

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」

1月9日～12月18日放送 20:00～20:45 日本放送協会

三谷幸喜の大河ドラマ3作目。兄宗時の「坂東武者の世をつくる」という理想を受け継ぎ、源頼朝との出会いで学び、自ら権力者となる北条義時の孤独と苦しみがよく伝わってくるドラマ。次々と粛清されていく人物や最後まで生き残る政子、義時、三浦義村まで、それぞれ輝きをもって丁寧に描かれ、見ごたえのある大河ドラマとなった。

木曜劇場「silent」

10月6日～12月22日放送 22:00～22:54 フジテレビジョン

切ない恋愛ドラマとしても惹きつけられたが、人と人がわかり合うことの普遍的な困難と希望が描かれたドラマでもあった。生方美久の脚本は、メインの2人だけでなくその周囲の人々の物語も説得力豊かに描いて秀逸。特に夏帆の演技には何度も感心させられた。言葉では伝わらない空気感を繊細にすくい取った演出も評価したい。

ETV特集「デザインには希望がある～三宅一生のまなざし～」

12月24日放送 23:00～24:00 日本放送協会

1970年代の日本から世界のトップ・デザイナーへと活躍の場を広げ、昨夏亡くなった三宅一生。その軌跡をたどり、本人の言葉、デザイン作品、多くの人たちが語るエピソードによって、三宅の人となりや生き方をうかがい知ることができる優れたドキュメンタリー。戦争を知る世代の偉大なクリエイターをまたひとり失った無念を禁じ得ない。

エルピスー希望、あるいは災いー

10月24日～12月26日放送 22:00～22:54 関西テレビ放送

テレビ局で働く主人公たちが、ある事件の冤罪をめぐって国家権力と闘う物語と思って見始めたが、国家権力に行き着く手前のメディアのなかにこそ闘うべき壁があることが描かれた。劇中で政界や権力組織への厳しい視点を随所に入れつつ、この物語が見せたのはなによりもテレビメディアによる辛辣な自己批判であるところが秀逸だった。

★詳細は月刊誌「GALAC」2023年3月号に掲載します